

## 第 2 回鳥取県国土強靱化推進評価会議での意見と対応方針

No	意見	対応方針	担当課
1	<p>【自主防災組織と消防団】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織と消防団は、組織として分かれているが、管轄する部署や市町村との連携で、両組織を総括して考え、両組織に係る施策や KPI の評価は、分けなくてもよいのではないか。</li> </ul>	<p>両者ともに、総括は県消防防災課で行っている。市町村ごとに事情が異なるため、分けて考えたい。</p> <p>(第 2 回会議内で回答)</p>	消防防災課
2	<p>【住宅の耐震化率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震化施策の進捗の目安になるので、耐震ベッドや耐震シェルターの設置率のデータを残しておいたほうが良い。</li> </ul>	<p>設置状況について数値データとして残していく。</p> <p>(第 2 回会議内で回答)</p> <p>→KPI の設定については、次年度以降の地域計画策定時の検討課題とするが、制度の創設から間もないことや住宅耐震化を補完する制度でもあることから目標値の推計、設定に困難が予想されることから早期の設定には課題がある。</p>	住宅政策課
3	<p>【避難物資の受入れ・配送体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難所に至る経路で物資を運ぶ大型車が入れない、保管場所でフォークリフトが使えない等、思わぬことで物資輸送や仕分けが滞ることがあるので、平素からの確認が重要である。</li> </ul>	<p>災害時の物資輸送について、必要に応じて県トラック協会など、物流の専門家の協力も得ながら円滑に実施できる仕組みを検討していきたい。</p> <p>→2 期計画見直しで追加する施策「物流専門家の派遣を要請できる体制の確保(地域計画改定案 p102)」の中で配慮する。</p>	危機管理政策課
4	<p>【避難物資の受入れ・配送体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来的には、支援物資の荷札をバーコード化することによる輸送体制の円滑化を考えてみて欲しい。</li> </ul>	<p>支援物資の仕分け、運搬、保管等について、バーコードの利用も含め、円滑かつ効率的な仕組みを検討していきたい。</p> <p>→次年度以降の地域計画策定時の検討課題とする。</p>	危機管理政策課

No	意見	対応方針	担当課
5	<p><b>【孤立集落対策】</b></p> <p>・孤立の可能性のある集落の検討については、中山間地に限らず、落橋やビル倒壊等で都市部でも孤立の恐れがある地区があるかもしれないので、多面的な視点での検討をお願いしたい。</p> <p>また、“孤立の危険性の数値化”ができたなら、県民が理解しやすいと思う。</p>	<p>都市部において落橋等により交通が途絶した場合は、消防、自衛隊等の関係機関と連携して、道路啓開や迂回路の設定等の対応することが想定されるが、いかなる状況でも適切な対応が取れるよう努めていきたい。</p> <p>また、ご提案のあった孤立の危険性の数値化については、現時点で評価指標がなく、すぐに数値化を行うことは困難であるが、孤立に備えて備蓄物資を用意することなど、引き続き県民への啓発に努めていきたい。</p> <p><b>→「備蓄物資の県民啓発」を継続実施する。</b></p>	危機管理政策課
6	<p><b>【孤立集落対策】</b></p> <p>・孤立の可能性のある集落の検討については、孤立が集落単位で発生しない場合もあり、考え方をしっかり整理してから臨んでいただきたい。</p>	<p>ご指摘のとおり、交通途絶が発生した地点等により複数の集落が孤立する場合や集落の一部が孤立する場合など、様々なパターンが想定されるところであり、想定を限定せず、柔軟に対応できるよう努めていきたい。</p> <p><b>→2期計画見直しで追加する施策「孤立可能性集落ごとの対応方針の検討(地域計画改定案 p103)」の中で配慮する。</b></p>	危機管理政策課

No	意見	対応方針	担当課
7	<p><b>【道路ハード整備の推進】</b></p> <p>・これまで国土強靱化という観点で、孤立対策も含めた道路のハード整備に取り組んでいただいているが、引き続きのハード整備をお願いしたい。</p>	<p>令和7年度に防災・減災国土強靱化のための5か年加速化対策（重点予算配分）が終了するが、後継事業の早期策定や必要な予算・財源の確保について国に要望を行っており、切れ目のない必要なハード整備に取り組んでいきたい。</p> <p><b>→必要なハード整備を継続実施する。</b></p>	事務局 (技術企画課)
8	<p><b>【内水対策】</b></p> <p>・基準があるので難しいかもしれないが、異常気象の激甚化に備えて、今後の下水道計画では、敷設する管径に余裕をもたせることを検討してみてはどうかと思う。</p>	<p>国の「気候変動を踏まえた都市浸水対策に関する検討会」において、計画的に「事前防災」を進めるため、下水道による都市浸水対策においても、気候変動の影響を踏まえた計画雨水量を設定するよう提言があり、県内市町村においても必要に応じて検討が進められることになっている。</p> <p><b>→鳥取県として対応できる施策について、次年度以降の地域計画策定時の検討課題とする。</b></p>	水環境保全課
9	<p><b>【計画全般】</b></p> <p>・新たに盛り込まれる施策内容について問題はないが、進捗が遅れている施策がある中で、無理せずに施策の整理も必要と考える。</p>	<p>令和7年度に行う、次期（第3期）計画策定の際に、施策の整理を行いたい。 (第2回会議内で回答)</p> <p><b>→次年度以降の地域計画策定時の検討課題とする。</b></p>	事務局 (技術企画課)